

議 事 録

日時 2019年4月15日 16:00～16:50
 場所 品川プリンスホテル NタワーN1会議室 (東京都港区高輪4-10-30)

	出席委員	性別	構成要件	当会との利害関係	出欠	備考
委員長	高田 章好	男	②	無	出	
副委員長	佐藤 明男	男	①	有	出	
委員	林 俊孝	男	③	無	出	
委員	大友 香里	女	②	無	出	
委員	玉置 泰裕	男	②	無	欠	
委員	斎藤 全一郎	男	④	無	出	
委員	渡部 みゆき	女	④	無	出	
委員	西條 明日香	女	④	無	欠	

構成要件：

- ①再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
- ②臨床医（現に診療に従事している医師）
- ③法律に関する専門家・人権・医療に係る業務経験者
- ④①～③以外の一般の立場の者

はじめに高田委員長より、厚生労働省令第110号、140号および当会審査業務規程第17条に充足しており、本委員会は成立要件を満たしていることの確認と報告があった。

1. 審議事項

【変更】 申請者	八王子スポーツ整形外科クリニック	
再生医療等の名称	PRPの投与による関節軟部組織治療	
事務局受領日・事前審査日	2019/3/5	
技術専門員		
議決不参加	なし	
【議論の概要】	変更内容は、PRP製造に使用するキットの追加による提供計画変更および2019年4月施行、改正省令に基づく提供計画該当項目の変更。 追加されるキットについては、厚労省届出医療機器であることから問題ないと決した。また項目別に変更内容を確認したところ、出席委員より特に異見はなく、全会一致で承認した。	
【結論】	適切	

【変更】 申請者	医) 白壁会サフォクリニック	
再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による皮膚再生治療	
事務局受領日・事前審査日	2019/2/5	
技術専門員		
【議論の概要】	提供医師の追加に伴う提供計画変更であり、新たに加わる医師について、経歴などを確認したところ特に異見はなく、当該再生医療を提供するに十分な識見を有すると認め、全員一致で承認した。	
【結論】	適切	

【変更】 申請者	医) 白壁会サフォクリニック	
再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による育毛治療	
事務局受領日・事前審査日	2019/2/5	
技術専門員		

議決不参加	なし	
【議論の概要】提供医師の追加に伴う提供計画変更であり、新たに加わる医師について、経歴などを確認したところ特に異見はなく、当該再生医療を提供するに十分な識見を有すると認め、全員一致で承認した。		
【結論】	適切	

【変更】	申請者	医) 白壁会サフォクリニック
	再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による創傷治癒促進補助再生治療
	事務局受領日・事前審査日	2019/2/5
	技術専門員	
	議決不参加	なし
【議論の概要】提供医師の追加に伴う提供計画変更であり、新たに加わる医師について、経歴などを確認したところ特に異見はなく、当該再生医療を提供するに十分な識見を有すると認め、全員一致で承認した。		
【結論】	適切	

【定期報告】	申請者	品川スキンクリニック上野院
	再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による皮膚再生治療
	事務局受領日・事前審査日	2019/2/7
	技術専門員	
	議決不参加	なし
【議論の概要】当該期間における提供実績はなかったことから、継続して観察して行くこととした。他方、当該院は依然として当該再生医療等の提供に足る医療環境を有していると考えられ、継続して差し支えないと認める。 よって、全会一致で当該提供報告を妥当と認め、適切と決した。		
【結論】	適切	

【定期報告】	申請者	品川美容外科上野院
	再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による皮膚再生治療
	事務局受領日・事前審査日	2019/3/7
	技術専門員	
	議決不参加	なし
【議論の概要】当該期間における提供実績は92名111件であったが、再来院の19名について医師の診察でいずれもしわに改善に効果がみられたとの報告を了承し、他方、当該院は依然として当該再生医療等の提供に足る医療環境を有していると考えられ、継続して差し支えないと認めた。		
【結論】	適切	

【定期報告】	申請者	麻布ビューティクリニック
	再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による皮膚再生治療
	事務局受領日・事前審査日	2019/3/18
	技術専門員	
	議決不参加	なし
【議論の概要】当該期間における提供実績は12名15件であったが、疾病、有害事象の発生はなく、かつ再来院時の医師の診察で15件いずれも改善に効果がみられたとの報告を了承した。 他方、当該診療所は依然として当該再生医療等の提供に足る医療環境を有していると考えられ、継続して差し支えないと認めた。		
【結論】	適切	

【定期報告】	申請者	美容皮膚科川口クリニック
	再生医療等の名称	多血小板血漿 (PRP) の投与による皮膚再生治療

事務局受領日・事前審査日	2019/3/27	
技術専門員		
議決不参加	なし	
<p>【議論の概要】当該期間における提供実績は25名25件であったが、疾病、有害事象の発生はなく、かつ再来院時の医師の診察で全件いずれもしわや肌質改善に効果がみられたとの報告を了承した。他方、当該診療所は依然として当該再生医療等の提供に足る医療環境を有していると考えられ、継続して差し支えないと認めた。</p>		
【結論】	適切	

【定期報告】	申請者	加藤クリニック麻布
	再生医療等の名称	多血小板血漿（PRP）の投与による頭髪改善治療
事務局受領日・事前審査日	2019/3/27	
技術専門員		
議決不参加	なし	
<p>【議論の概要】当該期間における提供実績は1名4件であり、疾病、有害事象の発生はなく、かつ再来院時の医師の診察で頭髪改善に効果がみられたとの報告を了承した。実績が少ないことから今後継続して経過を観察して行くこととした。他方、当該診療所は依然として当該再生医療等の提供に足る医療環境を有していると考えられ、継続して差し支えないと認めた。</p>		
【結論】	適切	

【定期報告】	申請者	スキンソリューションクリニック
	再生医療等の名称	多血小板血漿（PRP）の投与による皮膚再生治療
事務局受領日・事前審査日	2019/3/30	
技術専門員		
議決不参加	なし	
<p>【議論の概要】当該期間における提供実績はなかったことから、継続して観察して行くこととした。他方、当該院は依然として当該再生医療等の提供に足る医療環境を有していると考えられ、継続して差し支えないと認める。よって、全会一致で当該提供報告を妥当と認め、適切と決した。</p>		
【結論】	適切	